



園だより 3月号

令和2年3月2日
陸沢町上之郷1736
陸沢町立陸沢こども園
TEL0475-44-0050



1月から、こども園で「郵便屋さんごっこ」をしました。お家に年賀状が届いた御家庭もありますが、5歳児が郵便屋さんになって配達しています。5歳児のクラスの前に、赤い郵便ポストがあり、その中にクラスで書いたはがきを入れると、5歳児が届けてくれます。はがきが届くと嬉しそうにお家に持ち帰り、次の日、返事を書きます。0～2歳児くらいまでは、なぐり書きをしたり、自分の描ける絵を描いたりして楽しんでいます。3歳では、担任が書いた字をなぞって書いていました。4・5歳になると、字を自分なりに書いたり、見本を見ながら真似をして書いたりする姿もみられ、それぞれの学年で、年齢に応じた楽しみ方をしています。

残り1ヶ月で、進級・就学を迎えます。子どもたちはこの1年で、大きく成長したのではないのでしょうか。友達を意識できるようになり、同じ遊びを楽しんだり、誘ったりして遊びを進めることもできるようになりました。4・5歳児になると友達と相談して、意見を言い合い、自分たちで遊びやルールを決め、物事を進められるようになりました。友達との喧嘩もありましたが、自分の考えを言ったり、相手の気持ちも聞いたりして解決することもできました。また、失敗してしまったことも、次は失敗しないように考え、工夫する姿も見られました。成長の過程は一人一人違いますが、お子さんの成長を認め、できたこと、できるようになったことを、たくさん褒めていただきたいと思います。それが、次への成長につながると思います。

3月のねらい

0歳児・保育者を仲立ちとして、友達と触れ合って遊ぶことや、異年齢児と一緒に遊ぶことを楽しむ。

・食事や衣服の着脱など、手伝ってもらいながら自分でやろうとする喜びを味わう。

1歳児・進級に期待をもち、見の回りのことを自分ですようとす。

・春の自然に触れながら、保育者や友達と一緒に戸外遊びをする。

2歳児・自信をもって見の回りのことを自分ですようとす。

・戸外遊びを通して、春の訪れを感じ、自然への興味を深める。

3歳児・進級することに期待をもち、意欲的に活動に取り組む。

・自分の思いを伝えながら、友達との関わりを楽しむ。

・春の訪れを感じ、身近な自然の変化に気付く。

4歳児・進級することに期待をもち、様々な活動に自信をもって取り組む。

・友達と意見を出し合いながら、一緒に遊ぶことを楽しむ。

・身近な自然に気付き、春の訪れに興味・関心をもつ。

5歳児・自分たちで遊びや生活を進めていく楽しさや充実感を味わい、自信をもつ。

・互いの成長や良さを認め合いながら、友達とのつながりを深め、卒園や就学での期待を高める。

・身近な自然の変化に気付き、春の訪れを感じ、関心を深める。



1歳児(あひる組)の姿

あひる組になり、1年が経とうとしています。トイレでの衣服の着脱、手洗い、靴を履く、ご飯を食べるなど、身の回りのことを自分なりに行えるようになりました。

遊びでは、一人遊びから友達との遊びを楽しむ姿が見られてきました。簡単なごっこ遊びでは友達や保育者と言葉のやり取りをする姿も見られます。友達が使っている玩具が欲しくて取ろうとして、トラブルが起こることもあります。玩具を貸してもらえて嬉しい気持ちや、貸してもらえず悲しい気持ち、友達が泣いているのを見て、心配そうに見ている様子など、色々な気持ちを感じながら生活しています。豊かな感情のやりとりを通して、友達の感情に気付くようになり、共感の基礎が育っています。一人一人の子どもたちの様子を見守り、気持ちに寄り添って、期待をもって進級できるようにしていきたいと思います。

4歳児(ゆり・すみれ組)の姿

少しずつ暖かい日も増え、戸外などで毎日元気に過ごしています。ルールのある遊び「ドロケイ」や「氷鬼」、「しっぽ取り」を取り入れ、遊びの中で自分の気持ちを伝えたり、相手に気持ちに気付いたりできるようにしています。

先日行われたお別れ会では、子どもたちから「年長さんにかっこいい所を見てほしい。」という声が聞かれ、司会や手遊びを前に出て行うなど、子どもたちで役割を決めて会を進めていきました。自分たちも大きくなった事を感じながら、5歳児に感謝の気持ちを伝えることができました。

4月当初には、前に立ったり、話したりすることが苦手な子どももいましたが、運動会や発表会など様々な経験を重ね、自信がついてきたようで、堂々と言うことができました。進級に向けて期待をもっている子どもも多く、こども園で1番大きなお兄さん、お姉さんになることを楽しみにしています。



陸沢小学校に5歳児が見学に行きました。1年生の教室に入り、椅子に座らせてもらったり、手をつないだりして、校舎内を見て回りました。こども園にない、音楽室や理科室も見せてもらいました。体育館で、運動会で踊ったダンスや、鍵盤ハーモニカできらきらぼしの演奏を聞き、小学校に期待をもたよう、笑顔で帰ってきました。



5歳児が氷を作った0～2歳児の保育室に見せにきてくれました。「うわあ。」「冷たい。」と言いつつも、何度も触っていました。

4歳児：氷ができるように、総合遊具の下に水を色々な形の入れ物に入れて置きました。「明日氷できるかな。」と楽しみにしていました。

新型コロナウイルス感染拡大対策のため、3月の子育て支援事業(園庭開放・おはなしの広場・わくわく広場・子育て支援室の開放)は中止になります。



むつざわプロモーションプロジェクトの歌「かぜのこ」を4・5歳児で歌い、録音しました。3月末頃から道の駅むつざわ つどいの郷で歌声が流れるそうです。お楽しみに！！

ハッピー子育てアドバイス♡2～3歳頃

食事・排せつ・洋服の着脱などが、ほぼ自分でできる時期です。基本的な生活習慣をきちんと身につけることが大切です。繰り返し手本を示しながら教えましょう。すぐにできなくても、ゆっくりと待ち、できるようになったら、ほめましょう。

4歳児：お別れ会で5歳児のお兄さん・お姉さんに渡すプレゼントを作りました。



3歳児：好きな色の毛糸を使って「冬の帽子」を作りました。1人1人違う色の、かわいい帽子ができました。



4歳児の子どもたちが卒園する5歳児に向けて、お別れ会の司会や進行をみんなで係を決めて行いました。また、0～4歳児が、一緒に遊んでくれた5歳児に感謝の気持ちを込めて、出し物をしたり、感謝の言葉を言ったりしました。5歳児もお礼に歌のプレゼントをしました。



ひよこ組



りす組



つき組



あひる組



ゆり組



こあら組



すみれ組

うさぎ組



ほし組



2月3日節分の日、こども園に、赤鬼・青鬼がきました。各クラスを回り、心の中にある鬼を退治できるように、豆をまきました。0歳、1歳、2歳児は、鬼が怖くて泣いて、担任の先生に隠れたりしていました。3歳児は、怖くて泣いていましたが、自分から豆を投げていました。4歳児は、鬼の様子を見ながら、しっかり見て、豆を投げていました。5歳児は、「鬼は外。」と言いながら、心の中の鬼をやっつけていました。



4歳児：異年齢でのお店屋さんごっこを経験し、「自分たちでもお店屋さんごっこをしたい。」とクラスでもお店屋さんごっこが始まりました。クレープ屋、お寿司屋、タピオカのジュース屋、焼きそば屋など、子どもたち同士で相談しながら看板や品物を作りました。



1歳児：友達を意識し始めた子どもたち。一緒にままごとで料理をしたり、体を動かしたりしました。

3月の歌♪

みんなで歌ってみましょう。

- ・めだかの学校
- ・1年生になったら
- ・うぐいす
- ・うれしいひなまつり
- ・はるがきた
- ・思い出のアルバム

1年間でたくさんの歌を歌いましたね。

